

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

ソラール発！ものづくりの未来創造・科学人材育成プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

防府市

3 地域再生計画の区域

防府市の全域

4 地域再生計画の目標

(産業)

本州の西端に位置する山口県は、瀬戸内海沿岸部を中心に化学、石油、鉄鋼などの基礎素材型産業、自動車、鉄道などの加工組立型産業が集積しており、第二次産業の総生産割合が全国 6 位（平成 24 年度県民経済計算）、1 事業所あたり及び従業者 1 人あたりの製造品出荷額が全国 1 位（平成 26 年工業統計調査）の工業県である。

県央部に位置する本市は、臨海部に自動車関連産業を中心とした大規模工場が集積して臨海工業地帯を形成しており、製造品出荷額が県内 2 位（平成 26 年工業統計調査）となっているほか、完成自動車の輸出貨物量全国 5 位（平成 26 年港湾調査）を誇る重要港湾三田尻中関港を擁しており、製造業が経済を牽引している山口県にあって、その一翼を担っている。

(地域資源)

本市は県内唯一の科学館である「防府市青少年科学館ソラール」を平成 10 年に開館し、以来、常設展示や様々な特別展・企画展に加え、自然観察教室や学校への出前授業などの館外活動にも積極的に取り組んでおり、小学生を中心に市内外から多くの来館者（平成 27 年度 69,071 人、平成 28 年 2 月通算来館者 90 万人達成）が訪れ、科学人材の萌芽を育む役割を担ってきた。

また、同館において平成 13 年に開設した防府市少年少女発明クラブでは、工作や実験を通して科学への興味・関心を追及する場を提供し、会員児童が科学・発明に関する全国大会や全国展などで入賞を果たすなど、活発な活動を行っている。

さらに、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるホストタウン登録を契機に、多様な分野での相互交流を深めていくこととしているセルビア共和国は、19 世紀最大の発明家の一人であるニコラ・テスラ

を輩出しており、同館において、その偉業を紹介する記念事業を開催するなど、科学をテーマとした国際交流の活性化や交流人口の拡大も期待されるところである。

(課題と目標)

現在、人口減少の克服・地方創生の実現に向け、地域全体でまちの将来を担う子どもたちを育み続けることが強く求められており、自動車関連産業を中心とした製造業、即ち“ものづくり”に支えられている本市においては、“ものづくり”の原点である科学への興味を青年期にわたって持ち続けられるよう、これまで以上に科学教育に取り組む必要がある。

このため、防府市青少年科学館ソラールを中核施設と位置付け、同館の機能強化事業と、産官学連携による幅広い年代を対象とした“ものづくりの科学”魅力発信事業を展開し、科学人材の育成を図るとともに、地域産業を支える若者の定着を促進する。

加えて、山口県や連携中枢都市圏域内自治体等と連携した積極的な広報に努め、市外からの学習旅行の受入などによる交流人口拡大を図り、同館が将来にわたり魅力ある開かれた科学人材育成拠点として機能することを目指す。

【数値目標】

事業	ソラール発！ものづくりの未来創造・ 科学人材育成プロジェクト		年月
KPI	防府市青少年科学館 ソラール来館者数	高校卒業就職者の 県内就職（内定）比率	
申請時	69,071人	87%	H28.3
初年度	70,000人	90%	H30.3
2年目	75,000人	91%	H31.3
3年目	80,000人	92%	H32.3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた基本目標である「未来を拓く地域教育力の再生」及び「防府市への人材の定着・還流・移住の推進」を達成するため、防府市青少年科学館ソラール機能強化事業、産官学連携による“ものづくりの科学”魅力発信事業のほか、『ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」』の充実と活用などを一体的に行う。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

（1）事業名

ソラール発！ものづくりの未来創造・科学人材育成プロジェクト

（2）事業区分

人材の育成・確保

（3）事業の目的・内容

（目的）

防府市青少年科学館ソラールを中核施設と位置付け、同館の機能強化事業と、産官学連携による幅広い年代を対象とした“ものづくりの科学”魅力発信事業を展開し、科学人材の育成を図るとともに、地域産業を支える若者の定着を促進する。

加えて、山口県や連携中枢都市圏域内自治体等と連携した積極的な広報に努め、市外からの学習旅行の受入などによる交流人口拡大を図り、同館が将来にわたり魅力ある開かれた科学人材育成拠点として機能することを目指す。

（事業の内容）

①防府市青少年科学館ソラール機能強化事業

映像展示に特化し、活用方法が限定されている「回廊展示室」の改修により、サイエンスショーの開催など、幅広い活用が可能なスペースを創造するとともに、新たな体験型常設展示物の導入により、体験型科学館としての機能向上を図る。

②産官学連携による“ものづくりの科学”魅力発信事業

防府市青少年科学館ソラールの指定管理者である防府市文化振興財団が行う次の事業に対し、補助金（補助率 10/10）を交付する。

- ・改修後の「回廊展示室」を最大限活用した、企業や県内大学によるサイエンスショーや科学教室、講演会などの開催。
- ・企業による体験コーナーの設置や小中高の科学部・県内大学等による作品展示など、産学が参画した「ものづくり企画展」の開催。

→各年度の事業の内容

防府市青少年科学館ソラール機能強化事業

初年度)「回廊展示室」の改修工事

2年目) 新たな体験型常設展示物の導入

3年目) 新たな体験型常設展示物の導入

産官学連携による“ものづくりの科学”魅力発信事業

初年度) -

2年目) 防府市文化振興財団が実施する下記事業への補助金交付

- ・企業や県内大学によるサイエンスショー等の開催
- ・ものづくり企画展の開催

3年目) -

(4) 地方版総合戦略における位置付け

本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略においては、基本目標の一つとして「未来を拓く地域教育力の再生」を掲げており、施策として「家庭・地域の教育力の向上」を定め、その具体的な取組内容として「防府市青少年科学館ソラールの魅力向上」を記載している。この取組の重要業績評価指標として、防府市青少年科学館の入館者数(H31: 80,000人)を設定しており、本プロジェクトは、この指標の達成に必要である。

また、他の基本目標として「防府市への人材の定着・還流・移住の推進」を掲げ、この数値目標として、若者の転出超過人数の半減(H31までの累計)を設定しており、本プロジェクトを進め、中高生以上に地域産業の魅力をPRすることは、この目標の達成に寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標(重要業績評価指標(KPI))

事業	ソラール発!ものづくりの未来創造・ 科学人材育成プロジェクト		年月
	防府市青少年科学館 ソラール来館者数	高校卒業就職者の 県内就職(内定)比率	
申請時	69,071人	87%	H28.3
初年度	70,000人	90%	H30.3
2年目	75,000人	91%	H31.3
3年目	80,000人	92%	H32.3

(6) 事業費

(単位:千円)

防府市青少年科学館 ソラール機能強化事業	年度	H29	H30	H31	計
	事業費計	21,000	2,450	10,000	33,450
区分	委託料	7,000	2,450	10,000	19,450

	工事請負費	14,000	0	0	14,000
--	-------	--------	---	---	--------

産官学連携による“ものづくりの科学”魅力発信事業	年度	H29	H30	H31	計
	事業費計	0	7,000	0	7,000
区分	負担金、補助及び交付金	0	7,000	0	7,000

(7) 申請時点での寄附の見込み

事業名	年度	H29			H30		H31		計 (千円)
	見込み額計 (千円)	400			400		400		1,200
防府市青少年科学館	法人名	株式会社 サイサン	製造業	製造業	株式会社 サイサン	製造業	株式会社 サイサン	製造業	
	見込み額 (千円)	100	100	200	100	100	100	100	800
ソラール機能強化事業	法人名						森和 エナジー 株式会社	製造業	
	見込み額 (千円)						100	100	200
産官学連携による“ものづくりの科学”魅力発信事業	法人名				森和 エナジー 株式会社	製造業			
	見込み額 (千円)				100	100			200

(8) 事業の評価の方法 (PDCA サイクル)

(評価の方法)

重要業績評価指標の達成状況や事業の進捗状況等については、計画期間中の各年度の終了後に、必要な調査を行い状況の把握を行うとともに、達成状況の評価、改善すべき事項の検討を行う。

(評価の時期・内容)

毎年度、5月を目途に、外部有識者で組織された「防府市まち・ひと・

しごと創生推進専門会議」において、取組の事業成果を報告し、専門的見地から意見をいただくとともに、その検証結果を踏まえて平成 30 年度以降の事業に速やかに反映させる予定。

(評価の公表)

「防府市まち・ひと・しごと創生推進専門会議」開催後、速やかに本市公式ホームページで公表する。

(9) 事業期間

平成 29 年 4 月から平成 32 年 3 月まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

①『ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」』の充実と活用

事業概要：本市では、生涯学習を推進するため、豊富な知識や経験、技能のある個人や団体を指導者として登録する「指導者バンク」と、様々な活動を支援し、社会貢献や自己実現を図りたいと考える個人や団体を支援者として登録する「支援者バンク」を一体的に運用する『ほうふ幸せます人材バンク』を設置している。このうち、「指導者バンク」について、科学分野の登録企業を充実させ、当該企業によるサイエンスショーや出張科学教室を生涯学習（公民館、高齢者教室等）や学校教育（土曜授業等）で積極的に開催することにより、地域ぐるみで次代を担う科学人材の萌芽を促す。

実施主体：防府市

事業期間：平成 29 年度～

②セルビア人発明家ニコラ・テスラをテーマとした企画展の開催

事業概要：2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたセルビア共和国との相互交流の一環として、防府市青少年科学館ソラールにおいて、セルビア人発明家ニコラ・テスラをテーマとした企画展を開催し、科学をテーマとした国際交流の活性化や交流人口の拡大を図る。

実施主体：防府市・防府市文化振興財団

事業期間：平成 30 年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 32 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

重要業績評価指標の達成状況や事業の進捗状況等については、計画期間中の各年度の終了後に、必要な調査を行い状況の把握を行うとともに、達成状況の評価、改善すべき事項の検討を行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年度、5 月を目途に、外部有識者で組織された「防府市まち・ひと・しごと創生推進専門会議」において、取組の事業成果を報告し、専門的見地から意見をいただくとともに、その検証結果を踏まえて平成 30 年度以降の事業に速やかに反映させる予定。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

「防府市まち・ひと・しごと創生推進専門会議」開催後、速やかに本市公式ホームページで公表する。